

心理学実験 3 (Web)

科目コード	2566656
学習センター	東京渋谷学習センター
学習センターコード	13E
クラスコード	W
科目名	心理学実験 3 (Web)
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30 名
担当講師	福沢 愛 (フクザワ アイ) (東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員)
日程 実施時間	第 1 回：12 月 11 日(金)までに課題提出 (オンデマンド型) 第 2 回：12 月 11 日(金)までに課題提出 (オンデマンド型) 第 3 回：12 月 12 日(土)3 時限：14:05～15:35 (Zoom+ オンデマンド型) 第 4 回：12 月 12 日(土)4 時限：15:50～17:20 (Zoom+ オンデマンド型) 第 5 回：12 月 12 日(土)までに課題提出 (オンデマンド型) 第 6 回：12 月 13 日(日)2 時限：11:35～13:05 (Zoom+ オンデマンド型) 第 7 回：12 月 13 日(日)3 時限：14:05～15:35 (Zoom+ オンデマンド型) 第 8 回：12 月 13 日(日)4 時限：15:50～17:20 (Zoom+ オンデマンド型)

授業概要

【授業内容】

心理学の基礎的な実験 2 種を行います。皆さんはそれらの実験に「実験参加者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。行う実験はストループ効果と視覚探索の 2 つです。受講生の皆さんは、8 コマの授業すべてに出席し、2 つの実験についてそれぞれレポートを提出する必要があります。

【授業テーマ】

- 第 1 回：心理学の研究手法、心理学実験とは
(放送授業教材『心理学概論 ('18)』の「第 2 回 心理学の研究手法」と『心理学研究法 ('20)』の「第 2 回 心理学研究法入門 2：研究法概説」を視聴し、課題を提出する)
- 第 2 回：ストループ効果：事前解説と実験の実施
(オンデマンド教材を学習したうえで、オンライン実験の参加者となり、そのデータを提出する)
- 第 3 回：ストループ効果：データの分析
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導により、データを分析し、図表等にまとめる)
- 第 4 回：ストループ効果：事後解説と結果の考察
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導、他の受講生とのディスカッションなどによって、データの分析結果について考察する)
- 第 5 回：視覚探索：事前解説と実験の実施
(オンデマンド教材を学習したうえで、オンライン実験の参加者となり、そのデータを提出する)
- 第 6 回：視覚探索：データの分析
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導により、データを分析し、図表等にまとめる)
- 第 7 回：視覚探索：事後解説と結果の考察
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導、他の受講生とのディスカッションなどによって、データの分析結果について考察する)
- 第 8 回：レポートの書き方
(オンデマンド教材、および同時双方向授業での担当講師からの指導により、実験レポートの標準的な様式や書き方について学ぶ)

【学生へのメッセージ】

従来、対面の面接授業として開講していた「心理学実験 1～3」のオンライン授業です。本科目を履修して合格すれば、認定心理士資格の取得に必要な c 領域の認定単位 1 単位分を修得することができます。

なお、2020 年度第 2 学期の面接授業で「心理学実験 1」を受講予定だった学生は「心理学実験 1(Web)」を、「心理学実験 2」を受講予定だった学生は「心理学実験 2(Web)」を、「心理学実験 3」を受講予定だった学生は「心理学実験 3(Web)」を履修してください。

ただし「心理学実験 1～3」以外の c 領域対応科目を受講予定だった学生は、「心理学実験 1(Web)」「心理学実験 2(Web)」「心理学実験 3(Web)」のいずれかを履修することで、c 領域の認定単位 1 単位分として換算することも可能です。「心理学実験 1(Web)」「心理学実験 2(Web)」「心理学実験 3(Web)」の授業テーマをよく確認し、これまで履修した「心理学実験」の面接授業のなかで、経験していない実験課題を 1 課題以上含む科目を選択してください。

		【成績評価の方法】 2つの実験のレポート2本の評点により行う 【使用する教材】 放送授業・Google Classroom 上の資料・その他放送大学で作成したオンライン実験のウェブサイト（スマートフォンやタブレットではなく、必ずキーボードのあるPCでアクセスしてください） 【教材の入手方法】 Google Classroom から各自で入手 【その他(特記事項)】 この科目は2008年度以前「専門科目：発達と教育」に該当します。 同時双方向授業(Zoom)への参加日程： 12月12日(土) 14:30～15:30(60分)、16:00～17:00(60分) 12月13日(日) 12:00～13:00(60分)、14:30～15:30(60分)、16:00～17:00(60分)※時間は多少前後することがあります。 課題の難易度:研究法や統計法を中心とした心理学の基礎的な知識とインターネットやパソコンのソフトウェアに関するスキルが必要です。 提出期限:授業終了後にGoogle Classroomを通じて、実験レポート2本分を提出することを求めます。提出期限は12月20日(日)18時です。 【受講前の準備学習等】 心理学研究法と心理統計学を中心に心理学の基礎的な知識を身につけておいてください。実習課題の内容について、あらかじめ学習しておく必要はありません。 【授業の要件】 Zoomを用いた同時双方向授業への参加・Google Classroom上にアップされた課題の実行と提出・放送授業の視聴・Google Classroom上にアップされた動画の視聴・レポートの提出・その他、オンライン実験への参加 【受講に必要な条件】 Web会議等システム（Zoom、Google Classroom など）への参加・放送授業の視聴・その他、学生に必要なスキルの具体的な説明（以下の①～③の条件をすべて満たした方のみが受講可能） ①必要な機器やソフトウェアが揃っていること ・キーボード及びマイクが装備されたパソコン（オンライン実験のサイトはキーボードが付いたパソコンからのアクセスが必要で す。マイクはZoomの同時双方向授業で使います。外付けのもので構いませんので必ずご用意ください） ・Microsoft Word、Excel、あるいはこれらに相当するソフトウェア（レポートの作成やデータの集計、グラフの作成等）に必要 ですので、使用するパソコンにインストールされていることをご確認ください） ②Microsoft Word や Excel（あるいはこれらに相当するソフトウェア）の基本操作ができること 授業では、上記ソフトウェアの基本操作（Word による「文書の作成」、Excel による「データのコピー・貼り付け」「表計算（合 計及び平均値の算出）」「グラフの作成」「Word 文書へのグラフの貼り付け」など）を行います。授業の中で、これらの操作に関し て、個別に指導することはありません。 Microsoft Word や Excel の操作に自信がない方は、放送大学自己学習サイト（システム WAKABA からアクセスできます）であ らかじめ自習し、ひととおりの操作ができるようにしておいてください。 ③Zoom と Google Classroom の基本操作ができること この科目では、Zoom と Google Classroom を利用して授業を行います。Zoom と Google Classroom は普段パソコンを使っ ている方なら比較的容易に基本操作ができます。 放送大学では、Zoom や Google Classroom の使い方及び機能を説明するサイトを用意していますので、事前にアクセスし、スム ーズに利用できるようにしておいてください。これらの使い方についても、授業のなかで指導することはありません。 ※Google Classroom の「メンバー」欄には学生の実名（登録している姓名）が表記されます。
実施会場	※We b会議等授業	